伝えます！女性の声

町内の女性にアンケートを実施

町では昨年7月、町内の女性750人を対象に、コロナ禍での生活の変化やごみの分別についてアンケート調査を実施しました。

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートで女性の声を集めました。

なお、この調査は「第二次長島町男女共同参画基本計画」策定に伴う住民意識調査と併せて行いました。

主な意見を町の回答と併せて次のとおり紹介します。

○アンケート実施期間
令和3年
7月13日(火)～
8月31日(火)

○対象
・町内在住の20代～70代の女性750人
・回答者数
433人
(回答率57・7パーセント)

コロナに関するアンケート

○コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、生活に変化はあったか。

・変化があった
＝217人(50・1パーセント)

中でも感染拡大防止のため家で過ごすことが多くなったかたが158人(72・8パーセント)となった。そのほか、「県外にいる家族や親せきに会えない」「外食をしなくなった」という回答があった。

ごみの分別に関するアンケート

①ごみの分別をきちんとしているか。

・分別をしている
＝305人(70・4パーセント)

・分別をしていない、一部だけ分別をしている
＝106人(24・5パーセント)

分別をしない理由として、月2回の回収のため、分別をしても保管する場所がなく、燃やせるごみで出してしまうかたも多い。

②燃やせないごみ用の袋に名前を記入するのに賛成か。

・賛成 ＝111人(25・6パーセント)
・反対 ＝103人(23・8パーセント)

賛成と反対に大きな差はなかった。プライバシーの問題もあり、慎重に取り組んでいくべき課題。

③生ごみの水切りをきちんと行っているか。

・行っている
＝368人(85・0パーセント)

ごみの処分料(税金)は重量で決まるため、水切りの徹底をすることで処分料が少なくなる。

④コロナの影響でごみの量は増えたか。

・変わらない
＝284人(65・6パーセント)

コロナが流行して自宅で過ごす時間が増えても、ごみの量は変わらないという意見が多かった。

町への意見・要望

◇町内施設も使用できなくなり、イベントもほとんど中止になっているが、規模を縮小しての開催などをしてほしかった。

【回答】
感染状況を確認しながら、イベントも来年度から順次開催していきたい。

◇感染者が出た際、町内放送により地域や人物が特定されるプライバシーの問題があるので、放送しないでほしい。

【回答】
今後、感染者が町内で出た際、町内放送を行うべきか役場内で検討を行っていきたい。

◇燃やせるごみの袋を透明化し、名前を記入すれば分別の意識が高まるのでは。

【回答】
以前に名前の記入をお願いしていたが、プライバシーの問題などから長島町衛生自治団体連合会で検討した結果、現在は未記入となっている。今後の状況によっては再度検討していく。

◇子どもでも分かるような今より簡単な分別表を作ってほしい。

【回答】
現在、ごみステーションに掲示する看板の案を作成中。家庭で行う分別は、ごみ分別促進アプリ「さんあ～る」などを活用していただきたい。

◇自治体からのごみの分別方法の勉強会を開催してほしい。

【回答】
公民館などからの要望があれば出前講座を実施している。少人数でも、時間と場所を指定していただければ開催する。

◇リサイクル集積場があるといいのでは。その場で洗えるように水場もあると嬉しい。

【回答】
リサイクルを推進するため検討したい。

◇月別のごみの排出量などの情報を公民館ごとに発信してほしい。

【回答】
複数の集落(公民館)を曜日ごとにまとめて収集するため、公民館ごとの情報発信は難しい。

◇定期的に広報や防災無線などで分別について周知したらどうか。

【回答】
定期的に、広報ながしまで「エコ通信」を掲載している。分別についても今後掲載を検討したい。

◇資源ごみの回収日を毎週1回に増やしてほしい。

【回答】
収集日を増やすのは予算の関係上難しいが、リサイクル集積所を常設するなどの対策を検討したい。

◇週1回の回収だと臭いがひどくなるので、祝日もごみを回収してほしい。

【回答】
ごみの搬出先である北薩広域行政事務組合と協議している。臭いについては、生ごみを生ごみ処理機や「キエーロ」などで処理すれば、軽減できる。

◇分別方法についての動画を作成して、ホームページに掲載してほしい。

【回答】
ごみ分別促進アプリで細かく分別表を作成している。

◇ごみを出したら得点がもらえる、分別をしていないと罰金を取るなど、メリット・デメリットがあると分別をする人が増えると思う。

【回答】
現状では確認が難しく、検討が必要。

◇生ごみ処理機を置いている家庭に助成金を出してほしい。

【回答】
生ごみ処理機、コンポストの購入には、補助金を交付している。生ごみ処理器キエーロは無償配布しているため、ぜひ活用してほしい。

◇ごみ袋の金額が高い。毎日・毎週のことで家計の出費が大きい。なぜ町専用の青い袋でないといけないのか。

【回答】
生ごみをキエーロで処理し、分別をしっかり行うことでごみの量を減らすことができる。ごみ袋は、2市1町(阿久根市・出水市・長島町)でそれぞれ色が決まっており、ごみ処理場で異物混入時などの排出先特定の目印としている。

◇ごみ収集所にポスターや回収表などを掲示して分別意識を高めてはどうか。

【回答】
現在、ごみステーションに掲示する看板については案を作成中。町内各所や北薩広域行政事務組合に子どもたちの描いた環境ポスターを掲示し意識を高める取り組みを行っている。